

## 令和4年度 第12回下野市教育委員会定例会議事録

日 時	令和5年3月20日（月）午後1時30分～午後3時55分			
会 場	下野市役所3階 303会議室			
出席委員	教 育 長	石崎 雅也	職務代理者	永山 伸一
	委 員	熊田 裕子	委 員	石嶋 和夫
	委 員	佐間田 香		
出席職員	教育次長		近藤 善昭	
	教育総務課長		上野 和芳	
	学校教育課長		石島 直	
	生涯学習文化課長		浅香 浩幸	
	文化財課長		山口 耕一	
	スポーツ振興課長		若林 毅	
	教育総務課課長補佐		神田 晃	
	教育総務課主事		慶留間 遥	

公開・非公開の別 公開（一部非公開）

傍 聴 者 0 人

報道機関 0 人

議事録（概要）作成年月日 令和5年4月18日

### 議 事

- |        |                               |
|--------|-------------------------------|
| 議案第36号 | 下野市スクールガード・リーダーの委嘱について        |
| 議案第37号 | 令和5年度下野市学校運営協議会委員の任命について      |
| 議案第38号 | 下野市地域学校協働活動推進員の任用について         |
| 議案第39号 | 下野市立学校給食センター設置条例施行規則の一部改正について |
| 議案第40号 | 下野市教育相談員の設置等に関する規則の一部改正について   |

### 報告事項

- (1) 令和5年第1回市議会定例会の報告について
- (2) 教育委員会後援等の承認について
- (3) 個人情報保護制度の見直しに伴う関係訓令の整理に関する訓令について

- (4) 下野市立国分寺学校給食センター給食費徴収要領の一部改正について
- (5) 下野市適応指導教室運営要綱の一部改正について
- (6) 令和5年度教育研究所要覧について

その他

- (1) 令和5年度教育委員会主要日程について
- (2) 令和5年度下都賀地区市町教育委員会連合会教育委員全体研修会 講師  
(案) について
- (3) 令和4年度市立学校卒業記念品の状況報告について

1. 開会
2. 教育長挨拶及び報告

(石崎教育長)

- 2月17日から本日3月20日までの職務について報告する。
- ・ 2月17日、市総合教育会議が開催された。
  - ・ 同日、市教育委員と保護者との懇談会を開催した。
  - ・ 2月19日、石橋公民館自主サークル発表会が開催された。ステージ発表に15グループ、展示に13グループの参加があった。
  - ・ 2月20日、市感謝状贈呈式が開催された。市政功労者表彰内申基準年数の二分の一以上の方が対象であり、民生委員・児童委員やスポーツ推進委員を務められた方が表彰された。
  - ・ 同日、死亡叙位・叙勲伝達式を実施した。
  - ・ 2月21日、令和5年市議会第1回定例会が開会した。市執行部からは、令和5年度一般会計当初予算など28議案と人事案3件が提出された。
  - ・ 同日、後期第8回下都賀地区教育長部会が開催された。中学校及び義務教育学校後期課程教諭異動案の確認・決定を行った。また、各市町間の欠員数の調整も行った。
  - ・ 2月22日、市議会予算説明が行われた。
  - ・ 2月24日、市議会会派代表質問が行われた。
  - ・ 同日、第2回ふれあい学習推進委員会が開催された。議題としては、今年度の「家庭教育学級実績報告について」「学校支援ボランティア実績報告について」などがあった。
  - ・ 2月26日、南河内東公民館自主サークル発表会が南河内公民館にて開催された。ステージ発表に6グループ、展示に4グループの参加があった。
  - ・ 2月27日、28日、市議会一般質問が行われた。教育委員会関係質問としては「『いちご一会とちぎ国体』のレガシーを本市のスポーツ振興へつなぐために」並びに「今後のコロナウイルス感染対策について」「ケアラー、特にヤングケアラー支援策はどのように実施されたか」の3つがあった。
  - ・ 同日、後期第9回下都賀地区教育長部会が開催された。本年度最後の教育長部会であった。令和5年度定期異動についての最終確認を行った。
  - ・ 同日、第3回下都賀地区市町教育委員会連合会定例会が開催された。「令和5年度定期異動事務報告」「令和4年度後期事業報告」等の議事があった。
  - ・ 同日、第2回市教育委員会臨時会を開催した。
  - ・ 3月1日、市議会総括質疑・委員会への付託が行われた。

- ・ 同日、県理科研究展覧会並びに発表会の中央展覧会で最優秀賞を受賞した国分寺中学校3年生が、市長を表敬訪問した。
- ・ 3月2日、ランドセルカバー贈呈式を開催した。下野地区交通安全協会から、新入学児童分580枚の寄贈があった。他、冊子「6つのおやくそく」や、子ども交通安全カードなどのグッズを寄贈いただいた。
- ・ 同日、教職員定期異動結果の市長への報告を実施した。小野管理主事と共に、市内教職員定期異動の概要について、市長並びに副市長に報告した。
- ・ 3月3日、県立石橋高校の校長、野球部長、野球部顧問、野球部員3名（主将、副主将、エース）の計6名が市長を表敬訪問した。第95回記念選抜高校野球大会（21世紀枠）に選出されたことによる表敬訪問であった。
- ・ 3月8日、第12回市教育委員会部内会議を開催した。
- ・ 同日、市小中一貫教育推進協議会が開催された。議事は「各中学校区における取組について」並びに「小中一貫教育に関するアンケートについて」などであった。
- ・ 3月10日、第66回新型コロナウイルス感染症対策本部定例報告会議が開催された。検討事項として「新型コロナウイルス感染症対策に係る下野市の基本的対策について」、報告事項として「令和5年度新型コロナウイルスワクチン接種について」があった。
- ・ 同日、県理科研究展覧会並びに発表会の中央展覧会で最優秀賞を受賞した古山小学校2年生、古山小学校4年生、石橋中学校1年生、中央発表会で最優秀賞を受賞した祇園小学校6年生、南河内第二中学校1年生、計5名が市長を表敬訪問した。
- ・ 3月11日、市内中学校において卒業式が行われた。卒業式におけるマスク着用の扱いについては、各校ともほぼ統一の対応であった。
- ・ 同日、ゆうがお混声合唱の集い2023が開催された。参加団体は、下野混声合唱団、石橋高校合唱部、コールもみの木、混声合唱団石苑、真岡市民合唱団の5団体であった。
- ・ 3月13日、人事異動試験委員会が行われた。
- ・ 同日、第2回市スポーツ推進審議会が開催された。議題は「令和4年度スポーツ振興事業報告について」「令和4年度における市スポーツ推進計画の取組状況について」などであった。
- ・ 3月14日、議員全員協議会が開催された。
- ・ 3月15日、第10回市定例校長会議が開催された。各担

当から、来年度実施予定の事業の説明並びに、各種書類提出の依頼を行った。

- ・ 同日、各校長への人事異動内々示を行った。
  - ・ 3月16日、市議会第1回定例会が閉会した。令和5年度一般会計当初予算など28議案と議員発議3件を原案どおり可決した。陳情については、1件を趣旨採択、1件を不採択とした。
  - ・ 3月17日、市内小学校において卒業式が行われた。
  - ・ 同日、内示会が行われ、市職員の定期異動が発表された。
  - ・ 3月18日、第二愛泉幼稚園の卒園式が行われた。今年度も来賓の招待を取り止めた幼稚園や保育園があった。
  - ・ 3月19日、天平の桜歌会が天平の丘公園において開催された。「文化人トークショー」「野点」「書道会」並びに合唱や各種演奏、舞踊のパフォーマンスなどが行われた。
- 以上の報告内容について、質疑等はあるか。(特になし)

### 3. 議事録署名人の選任 石嶋委員及び佐間田委員を指名

### 4. 前回議事録の承認

(石嶋教育長)  
(神田教育総務課課長補佐)

前回議事録について、事務局に説明を求める。

令和4年度第11回教育委員会定例会、令和4年度第2回教育委員会臨時会及び令和4年度第1回総合教育会議の議事録について、修正箇所の説明を行う。

(石嶋教育長)

質疑等はあるか。(特になし)

議事録はこのとおり承認とする。

### 5. 議事

(石嶋教育長)

議案第36号から議案第38号までについては、個人情報に関する案件なので、「地方教育行政の組織及び運営に関する法律第14条第7項」の規定により、非公開として進めたいと思うが、よろしいか。(全委員異議なし)

それでは、議案第36号から議案第38号までについては、非公開として進める。

まず、議案第36号 下野市スクールガード・リーダーの委嘱について、説明を求める。

以下、非公開

(石嶋教育長)

議案第36号を決定してよろしいか。(全委員承認)

議案第36号は原案どおり決定する。

続いて、議案第37号 令和5年度下野市学校運営協議会委

員の任命について、説明を求める。

以下、非公開

(石崎教育長)

議案第37号を決定してよろしいか。(全委員承認)

議案第37号は原案どおり決定する。

続いて、議案第38号 下野市地域学校協働活動推進員の任用について、説明を求める。

以下、非公開

(石崎教育長)

議案第38号を決定してよろしいか。(全委員承認)

議案第38号は原案どおり決定する。

ここで非公開を解く。

続いて、議案第39号 下野市立学校給食センター設置条例施行規則の一部改正について、説明を求める。

(上野教育総務課長)

下野市立給食センター設置条例施行規則の一部改正について、条文の文言変更部分を中心に説明を行う。

(石崎教育長)

今回文言が「学校栄養職員」から「栄養教諭」に変更となったが、そのことについて補足説明する。学校栄養職員が自ら希望し試験を受け、それに合格すると栄養教諭として任用される。国分寺学校給食センターの規模及び配食数を考えると、力のある栄養教諭が配置される可能性が高いということで、今回文言を「栄養教諭」と改めた。

このことについて、質疑等はあるか。

(熊田委員)

栄養教諭が配置されることは本当に良いことだと思う。しかし最近、教員不足について耳にすることが多い。栄養教諭については、現在、学校栄養職員の先生が任用試験を積極的に受け、増加傾向にあるという状況なのか。

(石崎教育長)

まず、栄養教諭は今現在配置されている学校栄養職員の中から選ばれるため、総数に変わりはない。しかし、栄養士免許を持つ方の他業種への流出などにより、将来的に栄養教諭を含めた学校栄養職員については、下野市内あるいは下都賀管内において、欠員が生じ、補充もない状況になる可能性がある。

現在、下野市においては、市費の会計年度任用職員も含めて、ほとんどの学校に学校栄養職員あるいは栄養教諭を配置している。しかし、教諭と同様に学校栄養職員も人員については決して楽観視できない状況である。

(永山委員)

今現在、配置されているのは栄養教諭か、学校栄養職員か。

(石崎教育長)

栄養教諭も含めた学校栄養職員が配置されている。

(永山委員)

現在、栄養教諭は何名ほどいるのか。

(石島学校教育課長) 下野市内には、栄養教諭を含めた学校栄養職員が、会計年度任用職員を含めて8名配置されているが、そのうちの4名が栄養教諭である。

(石崎教育長) 栄養教諭も学校栄養職員も、配置の枠は同じになっている。例えば、学校栄養職員配置校が8校あったとすると、どの学校に栄養教諭が配置されるかについては全く決まりが無いのである。そのため、ある学校に今年は栄養教諭が配置されたが、異動により次の年は学校栄養職員の主任が配置され、2年後に異動によりまた栄養教諭が配置されるという場合もある。あるいは現在主任の方が任用試験を受け、来年度は栄養教諭として前年度と同じ学校で勤務することもある。栄養教諭という職を設けながら、配置に関しては栄養教諭も他の学校栄養職員も一緒という状況なのである。

(永山委員) しかし、これからはセンターに必ず栄養教諭を置かなくてはいけなくなるということか。

(石崎教育長) そのとおりである。実務的な問題として、やはり規模が大きく、配食数の多いところに栄養教諭が置かれるため、実態に即した文言変更である。

また、先ほど市内に配置されている栄養教諭を含めた学校栄養職員8名のうち4名が栄養教諭であるとのことであったが、実際に2人は会計年度任用職員であり、栄養教諭になれない。さらにもう1名は欠員補充であり本採ではないため、本採に限れば80パーセントが栄養教諭ということで、かなり任用が進んでいる。そういった面からも、改正により「栄養教諭」と文言を変更することは妥当かと考える。

他に質疑等はあるか。(特になし)

議案第39号を決定してよろしいか。(全委員承認)

議案第39号は原案どおり決定する。

続いて、議案第40号 下野市教育相談員の設置等に関する規則の一部改正について、説明を求める。

(石島学校教育課長) 下野市教育相談員の設置等に関する規則の一部改正について、条文の文言変更部分を中心に説明を行う。

(石崎教育長) 質疑等はあるか。(特になし)

議案第40号を決定してよろしいか。(全委員承認)

議案第40号は原案どおり決定する。

続いて、報告事項に移る。

## 6. 報告事項

(石崎教育長) (1) 令和5年第1回市議会定例会の報告について、教育次長から説明する。

(近藤教育次長) 令和5年第1回市議会定例会の会期日程、教育委員会関係議

案、教育委員会関係一般質問の内容について説明する。

(石崎教育長)

質疑等はあるか。

(熊田委員)

地域おこし協力隊の活用で、図書館において何か連携ができないかという意見が出たようだが、このような意見が挙げたのには何か理由があったのか。

(近藤教育次長)

教育委員会だけではなく、例えば農政分野やまちづくり分野など、様々な分野の中で地域おこし協力隊を活用できないかという質問であり、地域おこし協力隊と図書館が連携した先進事例が県内にあったとのことで、図書館についての質問であった。

(石崎教育長)

他に質疑等はあるか。(特になし)

続いて、(2)教育委員会後援等の承認について、説明を求める。

(上野教育総務課長)

令和5年3月現在、2件の後援申請があった旨報告を行う。

(石崎教育長)

質疑等はあるか。(特になし)

続いて、(3)個人情報保護制度の見直しに伴う関係訓令の整理に関する訓令について、説明を求める。

(上野教育総務課長)

個人情報の保護に関する法律の一部改正に伴い、「下野市個人情報保護条例」を廃止し、新たに「下野市個人情報の保護に関する法律施行条例」を3月16日の市議会で議決した。それに伴い「下野市教育情報ネットワーク利用規程」と「下野市学校情報セキュリティ対策基準」の条文の文言変更を行った。

(石崎教育長)

質疑等はあるか。(特になし)

続いて(4)下野市立国分寺学校給食センター給食費徴収要領の一部改正について、説明を求める。

(上野教育総務課長)

下野市立国分寺学校給食センター給食費徴収要領について、給食費の月額変更、一食分単価の変更などについて説明を行う。

(石崎教育長)

質疑等はあるか。

(石嶋委員)

給食費の値上げは、給食センター受配校でのみ行われるのか。それとも、他の自校給食校においても行われるのか。

(上野教育総務課長)

市内全ての学校で月額200円の増額が行われる。今回の報告については、教育委員会で所管している下野市学校給食センター給食費徴収要領が、給食費の増額に伴い変更になったため行ったものである。

(熊田委員)

感想になるが述べたい。子どもが小学校に在籍していた頃に給食費の値上げがあり、このようにどこかの学校が値上げをすると、他の学校も次の年に値上げをしていたように記憶している。学校はかなり費用を切り詰めて給食の運営をしていると思うので、できるときに値上げをした方が良かった。

(石嶋委員)

値上げの件とは別になるが、一時期給食費の未納が問題になった。現在下野市において、給食費未納により困っている学校はないか。



- (上野教育総務課長) 市内全体を見ると、数件未納がある状況である。未納問題に関しては、将来分割して納入するという約束を書面で取り交わすという対応と、児童手当を現金払いに切り替え、窓口で受け取りを依頼し、その中から給食費を納入してもらうという対応を行っている。
- (石崎教育長) かなり悪質な場合には、最終的に法的対応も辞さないということをお知らせすることも考えられる。未納による欠損分は、結果的に他の児童生徒から徴収した給食費を使い、補う形になってしまう。しっかりと給食費を納めた家庭や児童生徒が損をしないよう、今後も毅然と対応していく。
- 他に質疑等はあるか。
- (永山委員) 先ほど「下野市学校給食センター給食費徴収要領を所管しているため、教育委員会に上げた」という発言があったが、そもそも給食費の額はどこでどのように決定しているのか。
- (上野教育総務課長) 今回は下野市校長会において決定した。原案については、下野市の栄養士会が作成している。
- (石崎教育長) つまり、国分寺学校給食センターの場合には給食費に関する明文化された決まりがあるが、他の学校の給食費については明文化された決まりはないということでしょうか。
- (上野教育総務課長) そのとおりである。
- (熊田委員) 給食費は各学校で決められていて、学校ごとに金額が少し違っていたように記憶しているが。
- (上野教育総務課長) 熊田委員の述べたとおり、平成26年度以前までは、給食費は学校ごとに異なっていた。しかし金額はなるべく合わせたほうが良いのではないかとということで、現在は統一の金額になったという経緯がある。
- (石崎教育長) 他の市町においても同様に、各学校に給食費に関する規則はないため、学校ごとに給食費は異なっても問題はない。しかし、同じ地域の学校で給食費が違うことに疑義が生じることも考えられるため、大抵は地域や町内で金額を合わせるのが一般的である。
- (熊田委員) P T Aで給食費の監査を行ったこともあり、そういった場所で指摘がある可能性があるため、金額は揃えたほうが良いと思う。
- (石崎教育長) 他に質疑等はあるか。(特になし)
- 続いて、(5) 下野市適応指導教室運営要綱の一部改正について、説明を求める。
- (石島学校教育課長) 下野市適応指導教室運営要綱の一部改正について、条文の文言変更部分を中心に説明を行う。
- (石崎教育長) 質疑等はあるか。
- (石嶋委員) 適応指導教室から教育支援センターに名称が変わったという

ことやその趣旨は分かるのだが、そのことを学校の先生にも理解してもらう必要があると感じた。今までは学校復帰を一番の目的としていたが、居場所づくりやその後の自立など、学校復帰に限らず、将来のために視野を更に広げた対応を行うということを現場の先生にも理解してもらう必要があると思うので、そういったことのPR等をしっかり行ってほしい。

(石島学校教育課長)

先日の児童生徒指導担当者会議において、来年から名称を変えることを先生方にも伝えたところである。また、サポートセンター日より、通称サポセンだよりを教職員向けに発行しているため、そういったものも活用しながら、より一層の周知を行っていく。

(石崎教育長)

他に質疑等はあるか。(特になし)

続いて、(6) 令和5年度教育研究所要覧について、説明を求める。

(石島学校教育課長)

資料「令和5年度教育研究所要覧」に基づき、来年度の教職員の研修内容や下野市学校教育サポートセンター事業、令和5年度指定研究学校・事業等の説明を行う。

(石崎教育長)

質疑等はあるか。

(佐間田委員)

8ページ下部分の「学校教育サポートセンター教育相談員13名」の「名」の字の書体が違っているように思う。確認してほしい。

(石島学校教育課長)

確認する。

(石嶋委員)

小教研や中教研の回数は減ったのか。以前は年に3回行っていたように思うが、現在は年に2回になっていると聞いた。

(石島学校教育課長)

石嶋委員の述べたとおり、年2回になっている。

(石嶋委員)

現在、小教研や中教研を始めとした、学校を越えたつながり——別の学校で同じ教科の先生同士のつながりなどを作る場が、忙しさを理由に削られてしまっている。そういった場がなくなってしまうと、先生同士の情報交換の範囲が狭くなり、視野が狭まってしまうように思う。

現在、こういった研修を減らしていこうという動きもあるが、研修を通して、他の学校の先生や立場の違う先生との情報交換を行うことは、より重要になっているのではないかと思う。このような現状も考慮して、教育研究所主体で研修をやるのだから、先生方の視野が広がり、立場を越えた共通理解のようなものが深まるよう配慮してほしいと思う。大変なことだとは思っているのだが。

私自身、中教研などの研修から学ぶことが本当に多かった。しかし、だんだん研修の回数も減り、参加者も減ってきてしまっている状況である。今はこのような教育研究所の研修が、かつての小教研、中教研の代わりに、学校を越えたつながりを生

む場になるのではないかと感じている。

(石崎教育長)

小教研、中教研について確認である。講演会、授業研究会等形式は問わないが、出席したい先生が全員参加することができ、先生同士がお互いに交流できるような機会は、確実に年に2回あるということで良いか。

(石島学校教育課長)

小教研、中教研それぞれA部会、B部会があり、A部会は教科が中心であり、B部会は道徳や保健安全などの領域が中心の研修となり、それぞれ1回ずつ実施している。合わせて2回の実施となる。

(石崎教育長)

他に質疑等はあるか。

(熊田委員)

「教育研究発表会」が来年もオンラインで開催されるということで、質問する。今まではコロナウイルス感染症対策のためにオンライン開催になっていたと思うのだが、来年の感染状況はまだはっきり分からないながらも、かなり状況は収まってくるのではないかと予想される。今回「教育研究発表会」がすでにオンライン開催と決定しているのは、コロナ対策ではなく、ICTの活用を目的としているからということによろしいか。

(石島学校教育課長)

会場に来ることができない先生方のために、オンライン開催も同時に行えると良いと考えており、今年度のような全くのオンライン開催にはしない予定であった。「協議の場を設ける場合はぜひ対面で行いたい、教育委員会からの一方向のみの講話形式であれば、オンライン開催で良いのではないか」という学校からの要望も上がってきているため、研修の内容によって開催方式を検討していきたい。

(石崎教育長)

例年「教育研究発表会」は、研究成果の伝達のような形式になっている。そのため、オンライン開催が良いかと思う。

(熊田委員)

対面とオンラインのハイブリッドのような……何人かは現地に来て、なおかつオンラインでも流すという形も、多くの人に参加できて良いと思う。

(石島学校教育課長)

研修の中身によって検討していくが、研究報告が主流になる場合はオンラインが中心になるかと思う。

(熊田委員)

今回オンラインでの開催を経験して、なかなか通信が上手くいかない場合や、やってみないとわからないことが多かったように思う。今後のことも考え、オンラインを取り入れる方が良いと感じた。

(石崎教育長)

コロナ禍によって様々なことが制限されたが、その制限により、新たな会議開催方式や、労力削減の方法などの発見もあった。「教育研究発表会」は、内容を考えると、これからもオンライン研修で良いのではないかと思う。

他に質疑等はあるか。

(石嶋委員)

市スクールアシスタント研修における学校生活支援員（介助）

の研修が年に1回である。支援員の皆さんの意見にもよるとは思うが、1学期に1回、2学期に1回、計2回くらいあった方が良いのではないか。同じ立場の方との情報交換の場や、悩みを共有し合える場となることを考えると、少し回数を増やした方が良いかと思う。以前、自分が現場にいたとき、そういった意見が挙げることがあったので提案する。

(石島学校教育課長)

今年度については、まず1回は確実に実施するということで、委員や支援員の意見をもとに、今後の研修会の在り方についても考えていきたいと思う。

(石崎教育長)

同じ学校内での縦や横のつながりも重要だが、研修は同じような立場の方と「うちの学校はこうやったんだよ」「こういった好転が見られたよ」といった情報を共有できる場となる。そういった機会を増やす方向で進めてほしい。

他に質疑等はあるか。(特になし)

続いて、その他の連絡事項に移る。

## 7. その他

(石崎教育長)

(1) 令和5年度教育委員会主要日程について、説明を求める。

(上野教育総務課長)

令和5年度教育委員会主要日程について、前回からの修正箇所及び教育委員会定例会日程について説明する。

(石崎教育長)

質疑等はあるか。

(石嶋委員)

6月の「下都賀地区P連総会」が「ぜひ出席いただきたい」となっているが、これは正しいのか。

(浅香生涯学習文化課長)

教育長に出席をお願いする意図で記載してしまった。訂正する。

(石嶋委員)

もう1つ、8月の「県少年の主張発表会 下都賀地区大会」も「ぜひ出席いただきたい」の印がついているが、これは教育長か永山委員が出席する行事ということか。

(浅香生涯学習文化課長)

例年であれば、こちらも教育委員の皆様には出席依頼の通知を送らない行事なのだが、来年度に関しては会場が下野市になる。これから下都賀教育事務所の方とも調整をしていくが、会場はすでに下野市で押さえてあるため、これまでの慣例を踏まえ、開催地の教育委員も挨拶をしているかどうか確認し、再度連絡する。

(永山委員)

何年か前に下野市で開催したときは出席したように思う。

(熊田委員)

私は出席していないように思う。

(浅香生涯学習文化課長)

何年かに1回、当番が回ってくるような行事になる。

(石崎教育長)

この表の「ぜひ出席いただきたい」「できれば出席いただきたい」という印は、教育長を基準にして付けていたように思う。現在、教育長出席行事と教育委員出席行事が混在しているように思うので、教育委員の皆様にも出席してほしい行事を洗い直し、

また新たに印をつけ直すよう、事務局各課に求める。

他に質疑等はあるか。

(永山委員)

主要日程の訂正をする場合は、古いものとの区別が付かなくなってしまうので、直した日付を右側に入れてほしい。郵送されたものと本日新たに配られたもの、両方とも右上の日付が同じなので、どちらが最新版かわからなくなってしまう。

(石嶋委員)

今日配布されたものと先日郵送されたものには違う部分があるのか。

(神田教育総務課課長補佐)

3月13日の下線部分に変更点である。

(石嶋教育長)

他に質疑等はあるか。(特になし)

続いて、(2)令和5年度下都賀地区市町教育委員会連合会教育委員全体研修会 講師(案)について説明する。

以前、教育委員の皆様に来年度の全体研修会講師案について意見をいただいたのだが、先日、永山委員と下都賀地区市町教育委員会定例会の方に出席した際「近年の全体研修会はテーマとして教育関係の固い話に偏っているため、今回は教育分野から離れたテーマで行うのも良いのではないか」という緊急動議が出された。その結果、一度、教育分野を離れ、テーマの枠を取り払って再度案を集めることとなった。教育委員の皆様には、案を出していただいたところ大変申し訳ないのだが、本日は持ち帰ってもらい、来週3月27日までに新たな案をいただきたい。また、4月28日に下都賀地区市町教育委員会連合定例会があるため、その前日である4月27日までは案について受け付けようと考えている。紹介をお願いしたい。

質疑等はあるか。(特になし)

続いて、(3)令和4年度市立学校卒業記念品の状況報告について、説明を求める。

(石島学校教育課長)

令和4年度市立学校卒業記念品について、2校で寄贈が行われた旨説明を行う。

(石嶋教育長)

質疑等はあるか。

(石嶋委員)

今回、中学校2校で、卒業生やPTAから学校へ記念品が贈られたとのことだが、他の学校では行われていないのか。

(石島学校教育課長)

ここ数年は情報として上がってきていない状況である。

(永山委員)

なぜ、卒業生やPTAからの卒業記念品の寄贈が減ってきているのか把握しているか。

(石島学校教育課長)

詳細については把握が難しいところではあるが、卒業生の数が減ってきているからということは聞いたことがある。特に小学生についてはかなり減ってきている。また「卒業記念品代」として徴収するのはいかがなものかという世間一般の動きも出てきているようで、PTAの予算を使い、大きなものを学校に寄贈するということはあるのだが、年度ごとの卒業記念品はか

なり減っていると聞いている。

(永山委員)  
(石島学校教育課長)  
(石崎教育長)

全国的な風潮と捉えてよろしいか。

全国的な流れというよりも、近隣の風潮であると思われる。

他に質疑等はあるか。(特になし)

それでは、事務局から他に連絡事項等はあるか。

(石島学校教育課長)

資料「令和5年度国公立高入試【速報】」を配布した。内容の確認をお願いします。

続いて、ALTの来年度の配置状況について説明する。ALTについては、下野市外国語指導助手派遣事業として令和2年から4年までの3年間、埼玉県の派遣事業者に委託し実施してきたが、来年度からは派遣事業者が変更になる。来年度からのALTの派遣リストがまだ届いていない状況であり、3月下旬になれば確定しないとのことであったため、3月31日の教職員退職辞令交付式の後に示したいと思う。

(石崎教育長)

質疑等はあるか。(特になし)

ここで私から2点ほど述べたい。先ほど下野市教育研究所要覧の最後のページ「令和5年度指定研究学校・事業等一覧」について説明したが、県教委からの依頼がこれから来る可能性があり、追加になることも考えられる。また、教員業務支援員について、市と県では予算を確保しているのだが、国の予算がまだ確定していないため、配置数が確定できていない状況である。年度末になっても示せない内容がいくつかあるのだが、了承いただきたい。

他に事務局から連絡事項はあるか。

(山口文化財課長)

3月18日に三王山南塚古墳群の発掘調査成果説明会を行った。大雨だったが30名ほどの方が参加された。

今回、調査を行ったのは3号墳で、15メートル四方の方墳である。三王山1・2号墳は、過去に南河内町史編さん事業で調査を行っている。2号墳は3号墳周溝の一部を埋めて造られたことが確認されていたが、3号墳は全く調査がされていなかった。これらの古墳は、およそ西暦300年くらいの時期に造られた古墳で、2号墳は卑弥呼が亡くなった50年後頃に造られたと想定されていたが、今回の調査で3号墳はこの2号墳よりもさらに古い古墳なのではないかという可能性が浮上した。卑弥呼が亡くなって50年ほど経った頃の古墳が2号墳なので、3号墳は卑弥呼が亡くなってからあまり時間が経たない頃に造られた方墳ということになる。古い時期の古墳なので15メートル四方の方墳と小型の古墳である。

今回の調査では残念なことに土器の破片などが全く出なかったため、確定的な年代については言及できない。古墳時代以前の弥生時代後期に方形周溝墓という、四角に小さく溝を掘った

形の墓が造られるが、古墳時代になると、方形台状墓と言うのだが、野球のマウンドのように四角く土を盛り上げる手法で墓を造るようになり、この盛り土の有無が古墳の定義になる。3号墳は盛り土し墳丘を築造しているため、古墳の範疇で良いだろうということになる。

三王山南塚古墳群2号墳からは古墳時代前期でも比較的古い土器が出ているため、3号墳はおそらく北関東でも1番目から2番目に古い古墳になると考えられる。最近新聞でよく取り上げられる、大田原市に所在する上侍塚古墳、下侍塚古墳よりもかなり古い古墳が実は三王山地区に所在するということになる。前方後方墳を造った人たちは、東海地方から静岡、千葉を經由して北上し、下野に移動してきたと想定されている。これらの人が早い段階から当地域に移住していたことから埼玉県や群馬県よりも住みやすい地域であったのではないかということが、今回の調査の結果で分かってきた。

来年度は2号墳や1号墳の再調査を行うため、調査が進み次第報告したいと思う。

(石崎教育長)

質疑等はあるか。(特になし)

他に事務局から連絡事項等はあるか。(特になし)

教育委員の皆様から連絡事項等はあるか。(特になし)

それでは、以上でよろしいか。(全委員承認)

次回の教育委員会は、4月18日(火)午後1時30分からの予定とする。

本日の議事日程は全て終了した旨を告げ、午後3時55分閉会。

議事録作成者

議事録署名人

議事録署名人